

平和の祈り

64年前の8月15日、多くの命を奪った戦争が
終結しました。

「戦争は二度と繰り返さない」。この思いや努力は、
次世代に伝えていかなければなりません。

非核日野町宣言25年

どの国も平和でありますように



こたけ はなこ
小竹 花子 さん

昭和20年4月、19歳のときに勤労奉仕隊として満州にある滋賀県満州報国農場へ6か月間との約束で行きました。ところが、終戦を満州で迎えてからは、すぐに帰国することができず、生きていくために中国の郵便局に勤務しました。日本に帰れたのは昭和21年10月の

ことでした。当時は食べるものがなく、「生きて帰りたい」という一心でかぼちやの葉を食べたこともありました。日本に帰ってきたときは、嬉しくて一気に力が抜けてしまいました。よく帰ってくることができたと感じます。
64年経った今でも、ソ連兵が追いかけてくる恐ろしい光景を夢で見ることはありません。
戦争中の生活に比べると、今は自由があります。努力して伸びようとすれば、自分の道を自分で切り開いていくことができます。
二度と戦争はしてほしくない。どの国の人も平和であってほしいと思います。

みんなが幸せで豊かな暮らしを



みずの ゆう
水野 優 さん

知り合いの方が平和に関する研修に参加してみないかと声をかけてくださり、今まで2回参加しました。

長野県にある無言館へ行って、戦死された方の絵や手紙を見ると、20代の方のものが残されていて、その方たちの人生の重みを感じました。同じ世代

の方が、戦争に行かれていたことを改めて確認し、情勢の違いで人生は変わるものなんだと複雑な思いがします。
信仰する宗教の違いなど、本当だったらみんなの幸せのためには争いがないもの、考え方の違いによって戦争が起こっている…矛盾しているように感じます。日本では、治安が悪くなってきたり、テロや戦争が身近には起こっていませんが、世界のどこかでは今も起こっているのです。
今の生活の中で、戦争や平和のことについて話す機会を作り出していくことが大切だと思います。

日野町で8月に行われる平和に関する行事をご案内します。

戦没者追悼式

町では、尊い戦争犠牲者の方々を悼み、永遠の平和を祈念するため、「日野町戦没者追悼式」を挙行します。

今、私たちが平和で豊かな生活を送ることが出来るのも、戦争によって犠牲になられた尊い生命の上に成り立っています。

「ご遺族の方々とともに犠牲になられた方々のご冥福をお祈りし、二度と戦争を繰り返すことのないよう、心から誓うものです。

● 8月24日(月)

午後1時45分から

町民会館

わたむぎホール虹

また、次のとおり、サイレンを吹鳴しますので、黙禱にご協力ください。

● 8月15日(土)

正午から1分間

(全国戦没者追悼式)

● 8月24日(月)

午後2時から1分間

(日野町戦没者追悼式)

日野町反核・平和のつどい

日野町では、戦後いち早く青年たちによってさまざまな活動が行われ、昭和30年3月6日に行われた「原水爆やめてくれ 日野平和まつり」には、当時人口一万人の町に6000人が集いました。平成11年からは、日野町反核・平和のつどい実行委員会の主催により、毎年「日野町反核・平和のつどい」が開催されています。

● 8月6日(木)

午後6時30分から

林業センター・松尾公園

ご冥福と平和を祈る

原爆が投下された広島市と長崎市では式典が行われ、核兵器の悲惨さと核兵器の廃絶を強く訴える「平和宣言」が行われます。原爆の犠牲となられた方々の「ご冥福と恒久の平和を祈念し、「平和の鐘」を叩いて黙禱が捧げられます。また、町でも次のとおり、サイレンを吹鳴しますので黙禱にご協力ください。

● 8月6日(木) 広島

午前8時15分から1分間

● 8月9日(日) 長崎

午前11時2分から1分間

非核平和の塔に込められた思い

町では、「非核日野町宣言」が昭和59年12月の議会で、住民からの請願に基づき、全会一致で決議されました。その後、平成4年に「非核平和の塔」が松尾公園に建設されました。今年の12月で25年になります。



▶ 非核宣言の碑と非核平和の塔

この塔は、子どもたちが地球を掲げ持っている姿をイメージして作られました。塔の上に灯されている火(電灯)は、昭和63年国連軍縮特別会議に向けて「広島」「長崎」の原爆の火を合体し全国リレーされた際、日野町で分火を受けて転化したものです。

また、その当時、1125名の町民の皆さんが平和への願いを石に書き記されました。平和への願いが込められたそれらの石は、すぐそばにある「非核日野町宣言の碑」の下に埋められています。

「非核日野町宣言」

核兵器を廃絶し恒久平和を実現することは人類共通の願いである。しかるに、今日核兵器の危険なき開発拡大競争により、国際緊張が高まっていることは、平和を願う日野町民として誠に憂慮にたえない。よって、日野町は次のとおり宣言する。

記

- 1、日野町は、被爆者の実情を把握し、核の脅威を広く町民に知らせて世論喚起につとめる。
- 2、日野町は、区域内における核兵器の配備・貯蔵・通過・飛来を拒否する。
- 3、非核三原則を堅持し、日野町を「非核の町」とする。

昭和59年12月25日 日野町議会